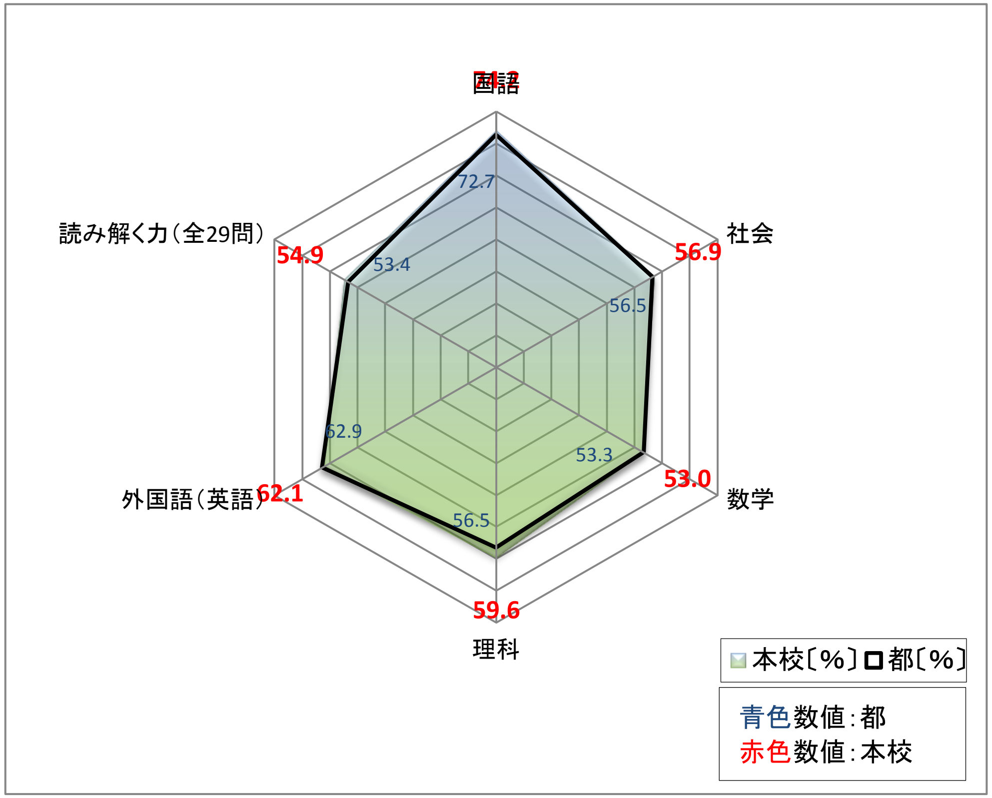
平成29年度児童・生徒の学力向上を図るための調査結果による「確かな学力向上推進プラン」策定のための課題分析表（中学校）

葛西第三中学校

《学力調査結果チャート》※本校と都の平均正答率の比較



《現状把握》

各教科とも、東京都平均とほぼ同じであり、5教科平均では、東京都より1ポイント高くなっている。特に読み解く力については、東京都に比べ　＋1.5ポイントというようにだいぶ高くなっている。これは、日ごろの指導の結果だけでなく、読書活動や言語教育、ICTを活用した授業の成果であると考えられる。

《授業改善のポイント》（推進プランは別紙）

ICTを活用した授業の工夫を各教科が実践しており、その効果が出ている。また、授業公開や、文系・理系の教員で互いの授業を見合い切磋琢磨していることも良い結果となって表れている。今後は、上位の生徒をさらに伸ばすだけでなく、下位の生徒についても、さらに補習等でレベルアップさせていく。

《チャートの特徴》

国語については、読書活動や発表の機会を増やし、生徒に意欲・関心を持たせていることで上回っている。理科については、実験等に生徒を主体的に取り組ませることで、意欲・関心を高めている。社会については、ビデオ教材やICT等の活用により、生徒が主体的に取り組んでいることが結果として表れている。数学と英語については、苦手な生徒について補習等で指導することで、読み解く力が以前より向上し、都平均とほぼ変わらなくなっている。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭学習習慣の定着のために、課題を出しながら、家庭学習習慣を身につけさせている。保護者会等でさらに意識の高揚を図っていくことが重要である。